

# ことう地域チームケア研究会 たより

令和3年7月30日発行

つながろう 話そう  
ウェブ de 研究会

## 第50回 ことう地域チームケア研究会を開催しました

◆開催日時: 令和3年7月8日(木) 18:30~20:30

◆参加者: 101名(医療関係35名、福祉関係31名、行政・その他35名)



今回のねらい

# 認知症について

- ①認知症を取り巻く状況、認知症初期集中支援チームの取組や専門職の関わりについて現状を共有しよう。
- ②認知症の方が暮らしやすい地域をつくるための社会資源や施策について理解を深めよう。
- ③認知症になっても住み慣れた地域が暮らしやすい場であるために、それぞれの立場で感じている課題や、他の職種に聞きたいこと、自分たちができることを考えてみよう。

### 【話題提供】



HOT サポートセンター  
西村りう子氏

## 認知症初期集中支援チームの現状・取組について

- ◇ 彦根市認知症 HOT サポートセンター (彦根市)
- ◇ オレンジファイブ (愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町)



オレンジファイブ  
右近 栄氏

### 【認知症初期集中支援チームとは】

\*「初期」には2つの意味がある。

1. (認知症)疾患の初期段階 2. 初動(first touch)

◆認知症や認知症が疑われる方およびそのご家族に対し、早期に関わり、**集中的・包括的に支援**することを目的に、多職種で構成された**専門職のチーム**(認知症サポート医、薬剤師、看護師、保健師、社会福祉士、理学療法士、介護福祉士等)

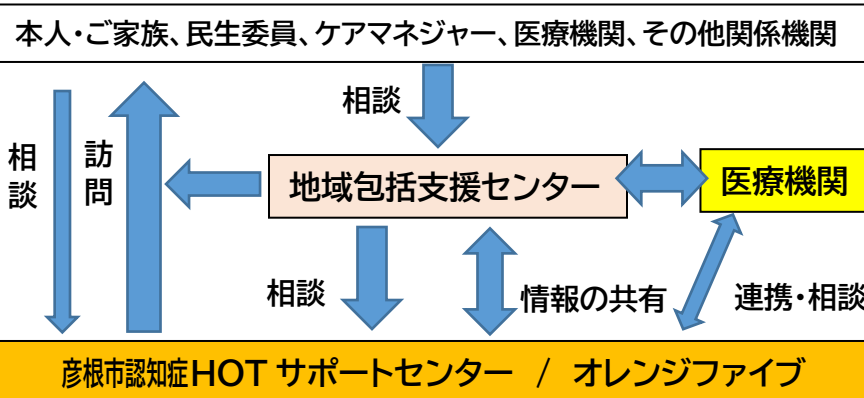
◆認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、**早期診断・早期対応**をめざす。

#### <対象となる方>

40歳以上で**自宅で生活されている**認知症が疑われる方、または認知症の方

- ①認知症疾患の臨床診断を受けていない
- ②継続的な医療サービスを受けていない(治療を中断している)
- ③適切な介護サービスに結びついていない
- ④介護サービスが中断している
- ⑤サービスは利用しているものの、認知症の行動・心理症状が強く、対応が難しい

### <相談から支援までの流れ>



#### <具体的な支援内容>

- ◆認知症に伴う生活障がい等についてアセスメント
- ◆適切な医療機関の受診を促し、継続的な医療支援に繋げる
- ◆適切な介護サービスを紹介し、継続的に介護サービスが受けられるよう繋げる
- ◆介護者との情報共有
- ◆介護者に対する認知症の理解や適切なケアについての助言
- ◆介護者の負担軽減や健康保持についてサポート

認知症初期集中支援チームの説明に合わせて、湖東圏域の二つの支援チームから、対応事例を紹介していただきました。具体的な事例を通して、この圏域の認知症の支援のしくみや状況を共有することができました。

# 医療の立場から～医師の役割～

かかりつけ医・サポート医が参画した地域における認知症高齢者支援体制

## サポート医について

彦根医師会 横野医院 横野智信氏

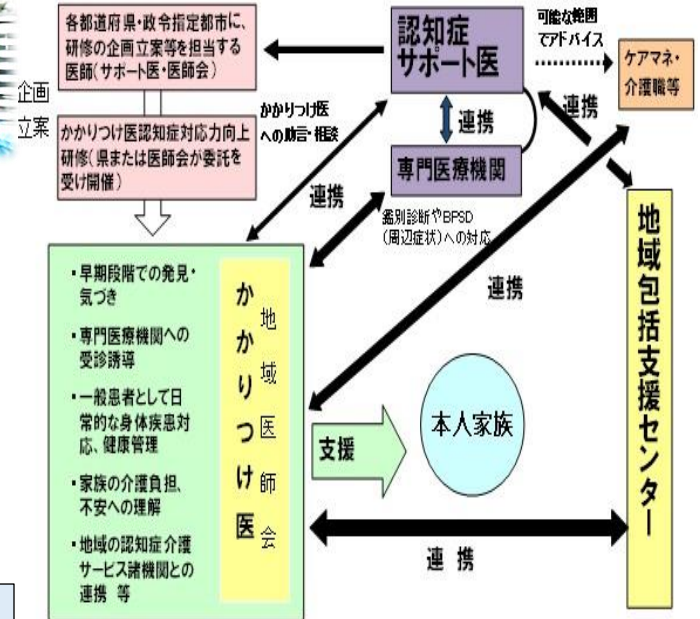


### 認知症サポート医とは

認知症サポート医は、独立行政法人国立長寿医療研究センターが行う認知症サポート医養成研修を修了し、認知症の人の診療に習熟し、かかりつけ医等への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる医師

### 認知症サポート医の活動内容

- ・かかりつけ医や専門職へのアドバイス・相談
- ・認知症初期集中支援チームの構成員として
- ・地域の各関係機関との連携
- ・直接患者さんを診療
- ・かかりつけ医に対する研修



## 専門医・認知症疾患医療センターについて

公財)豊郷病院 成田 実氏

### 認知症疾患医療センターの役割

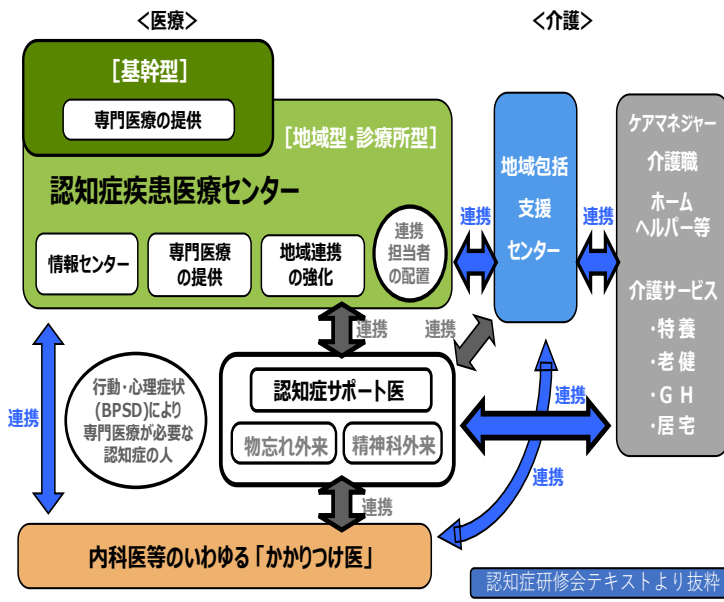
- ・専門医療の相談
- ・認知症の診断と対応
- ・身体合併症、行動・心理症状の対応
- ・地域連携の推進
- ・認知症を支える医療専門職の人材育成
- ・情報発信

### 【認知症疾患医療センター「オアシス」】(豊郷病院)

- \* 診療内容: 予約制
- \* 診療日: 水(1回/月、非常勤)火・木・土(隔週、非常勤・常勤)
- \* 医師(1)、(専任看護師1)、(心理士1)、(相談員1)
- \* 新患枠: 4名/日、再来約20名 (2021.7月時点)



## 認知症疾患医療センターの機能と連携



### <認知症疾患医療センターの活動>

- ◆医療専門職の人材育成・情報発信(院内、院外で実施、協力)
  - \* 豊郷病院公開セミナー(地域住民を対象に予防と啓発活動)
  - \* 市町の企画する住民向けの認知症講座の講師
  - \* 彦根保健所と協働で、ケース検討会の実施
  - \* 製薬会社の協賛による、地元かかりつけ医、看護介護職員との合同研修会講師(年2回)
  - \* とよさと関連施設および院内職員向けの研修
    - ・看護協会主催の認知症対応能力向上研修会講師
    - ・キャラバンメイト向け講習会講師 等
- ◆認知症初期集中支援チーム(ルンヅファイブ)4町合同
- ◆入院患者に実施する内容
  - ～院内デイケア、病院の試み(平成26年～)
  - \* 身体疾患で入院した認知症合併患者の悪化予防
    - ・身体診療科各病棟デイケアルームで日中デイケア活動を実施
    - ・結果: 入院後のせん妄の出現件数の減少
  - \* 認知症治療病棟(精神科の専門病棟)のない当センターでは地域包括ケア病棟で認知症患者の受け入れ、治療を实行。
    - ・一般内科病棟の体制で、認知症の方の受け入れる。
    - ・制約として専門治療病棟より、重症度の軽い方

日頃の認知症疾患患者への対応、思いなど、それぞれの立場から説明とお話をいただきました。各立場の医師の連携のしくみや必要性、また豊郷病院での認知症疾患患者への対応等、医療の役割、関わりについて、現状を知ることができました。また、診療の場面だけでは認知症に気づくことが難しいこともあるとお聞きしました。早期発見・早期対応、症状に合わせた適切な対応ができるように、日頃から医療との連携は不可欠であると改めて感じました。



# 【情報提供】認知症の方と家族を支えるしくみ

湖東圏域の市・町の地域包括支援センターより



## 地域の取組一覧

◆各市町での取組の詳細は、地域包括支援センターにお問い合わせください。

	早期発見・早期対応	認知症カフェ	介護者つどい	理解の促進
彦根市	①脳健康チェック ②認知症スクリーニング ③「脳健康チェック付 ほととかない 認知症講座」	①HOTカフェ de 銀座 ②HOTカフェ de 元町 ③HOTカフェ de 日夏 ④HOTカフェ de 平田 ⑤よりあい鳩びーちく ぱーちく ⑥オレンジカフェ	①介護家族のつどい「ほっこり」 ②男性介護者のつどい「彦根こんき会」	認知症ケアパスの活用等
愛荘町	①物忘れ相談 ②介護予防教室	①café kizuna ~きずな喫茶~ ②脳トレカフェ「ふらり」	介護者友の会「ひまわり」	
豊郷町	①「おたつやチェック」 ②おでかけ脳トレ教室	認知症カフェ「豊豊(とよとよ)」	-	
甲良町	脳トレ(コグニサイズ)教室 ※認知機能評価あり	カフェよって っ亭	介護者の集い「笑福(えふ)の会」	
多賀町	①頭健康チェック ②脳力アップ教室	オレンジ・カフェ(各字での活動を検討中)	介護者さんのおしゃべり会	

## 【様々な支え合い活動】\*彦根市での取組紹介

◆地域で暮らす住民同士や 地域で働く方々の支援によって、暮らしにくさのある方への支え合いの手が広がっています。

### ◎住民同士の見守り・支え合い

自治会単位で住民同士が互いにできることを出し合いながら“おたがいさん”の取組等。

### ◎企業・団体の見守り・ネットワーク

「彦根市高齢者安心・安全ネットワーク」

市内の協力事業者・彦根警察署・彦根市の連携

【令和3年7月1日現在】

# 思いを聞かせてください！

## 『認知症の方も家族も安心して暮らせる(暮らしやすい)地域とは』

自宅や身近な地域社会、施設、病院など、どんな地域の姿を思い描きますか？ それぞれの立場で課題に感じていること、できること、望むことはなんですか？

話題提供や質疑応答を受けて、今回は、アンケート用紙にみなさんの思いを書いていただきましたのでご紹介したいと思います。(グループワークができなくてすみません😞) 様々な思いをこの地域のめざす姿につなげていければと思います。

「まだまだ、家族だけで支えようとしてる人がたくさんいるように思います。専門機関へ早く繋げられるよう、啓発をしてほしいです。」(介護支援専門員)

「患者や家族、地域が安心できること。安心が担保されないと患者のプラス面も引き出せないと思います。けれども、なかなか人間だからこそ全て許せず難しいところもありますね。」(作業療法士)

「地域での「見守り」はいろいろ考えられてきていますが、生活援助などの仕組みや具体的な対策方法を考えてみてほしいと思いました。」(不明)

「近所や住民の関係が大事である。また家族の接し方で症状の変化が多くみられる。」(介護職)

「認知症、障害、その他の病気があってもそれが当たり前前の社会。これから認知症の方は増えてくる。楽しく暮らしている認知症の方を増やすことが認識を変えることになると思う。そのために、しんどそうに関わるのはやめたい。」(介護支援専門員)

「困っていることをどこに相談したら良いかと言うことをわかっていることが大切だと思いました。」(看護師)

「薬の管理ができない方は、すでに訪看さんがはっている例が多く、調剤薬局はできていて、薬剤師の在宅訪問につながらない。訪看さんとお薬手帳を介して、服薬状況や残薬を記載してくれて、やりとりするケースがあり助かる。」(薬剤師)

「市町村や介護職、地域社会が認知症の理解と見守りで生活できれば理想的ではあるが、まずは家族が認知症の理解と近所に知らせることの理解を得ることが課題と思う。近所に知られたくない、迷惑をかけたくないと周りの支援を受け入れられない家族に対しての支援が必要と感じる。本人が一人でも通院や買い物ができるよう支援のシステムが統一化されていれば助かる。」(介護支援専門員)

「高齢化が進み、認知症が当たり前となった社会に向けて、各々が認知症を理解し、支える、見守ることを意識していくことが大切だと思う。」(保健師)

「地域で認知症の方を支えていくことの大切さ、困難さを日々実感しています。個人で職場で地域で自分ができることを行動に移していければと思いますが・・・。」(看護師(包括))

「介護保険が始まる時、「地域社会で認知症患者さん・家族を支えましょう」でした。職種間のネットワークを気楽に使い薬剤師としての手助けができればと思います。」(薬剤師)

「誰もが自分のこととして考えられ、地域で見守れる支え合える地域。」(保健師)

「A町(他圏域)では歯科ができる認知症の方へのアプローチ、サポートなど様々な活動を行っています。2025年に向け、高齢社会に対応できる歯科医療を！！(歯科衛生士)

「①落ち着いて立ち止まれる場所がある。ロボットの介護者 ②ボケても楽しく。」(医師)

# アンケートにご協力いただきありがとうございました



## 第50回参加者アンケートより

## こんなこと思いました



### 1. 「認知症初期集中支援チーム」について

- ・どういった仕組みの中で動かれているのかイメージを持つことができた。また、事例を入れていただいたのもわかりやすかったです。(作業療法士)
- ・支援導入が困難な例も聞けて良かった。(薬剤師)
- ・薬局や施設からだけでは見えてこない、家族の問題が見えて考えさせられた。(薬剤師)
- ・男性利用者がデイサービスに出られない人が多く家族の方が悩んでおられます。関わりや家族の支援をどうしていったらいいのか。(介護職)

### 2. 「医療の立場・医師の役割」について

- ・かかりつけ医の先生がサポート医であったらとても心強いことだと思いました。(看護師)
- ・サポート医のことがよくわかりました。また、医師の先生方でも認知症を認識できてないことがあるというお話を聞きなお一層チームで取り組む重要性を感じました。(作業療法士)
- ・豊郷病院が内科病棟で認知症患者さんの受け入れをされていること、「認知症サポート医」について知りました。/ 入院の敷居は高かったが、相談できやすくなった。(薬剤師)
- ・医療機関での入院は認知症のお薬調整が主であると思っていたが、レスパイト的な対応も相談できるとのことで今後視野に入れて利用者、利用者家族に説明していきたいと思う。(介護支援専門員)

### 3. 「市町の取組・地域の支え合い」について

- ・地域の取り組みについて知れたことが良かったと思います。(看護師)
- ・カフェの内容をもう少し聞けると良かった。(作業療法士)
- ・行方不明者のメールシステムが良かった。(薬剤師)

### 4. その他

- ・介護施設で働いている者として、現在の地域の取り組みが知れた事はとても良かったと思います。(看護師)
- ・それぞれのお立場で、皆さんの頑張ってる姿を感じました。/ 家族の問題の事例が見れたのは良かった。(薬剤師)
- ・「その人らしさに注目し続ける」ということは後回しになりがちなので、心に留めておきたいと思います。MMSEの得点は、私は気にしてもらってもよいと思っています。(医師)
- ・その人の持っている能力は失われていない。認知症になってもその人の生き方をしっかり見てその人を尊重していく姿勢を持っていきたい。(保健師)
- ・盛りだくさんの情報があり、勉強になりました。グループディスカッションできなかったのは少し残念です。たくさんの参加者があり、驚きました。(介護支援専門員)
- ・3回目の参加ですが、緊張もとれ、会場なら緊張しすぎて質問できないであろうが、zoomなのでたすかる。(薬剤師)
- ・グループワークにて多職種の関わりがしたかったです。(歯科衛生士)

☆他にもたくさんのご意見ご感想をお寄せいただきました。ありがとうございました。

## <次回のことう地域チームケア研究会>

テーマ：「お薬について」(担当世話人団体：彦根薬剤師会)

日時：9月9日(木) 18:30~20:30

\*Web(ZOOM 使用)参加と会場参加のハイブリッド形式で行います。(会場参加は人数制限があります)

\*事前申し込みが必要です。参加方法など、詳しくはホームページ「在宅医療福祉情報の森」でご案内いたします。



ホームページ「在宅医療福祉情報の森」で研究会の情報をご覧いただけます。

### 【研究会に関するお問い合わせ：ことう地域チームケア研究会事務局】

- ◆一般社団法人彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455 E-mail:info@gen-ai-ken-kaigo.jp)
- ◆彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)